

蒲生田とウミガメ

文化振興課

日本の砂浜には、アカウミガメ、アオウミガメ、タイマイの3種のウミガメが産卵のため上陸する。ここ阿南市の砂浜でも、毎年5月下旬から9月上旬までの頃に

アカウミガメの上陸・産卵を見ることが出来る。

特に椿町にある蒲生田海岸でのウミガメの観察記録は歴史が深く、1954年(昭和29年)から記録が始められ、世界的にみても最長であり、ウミガメの学会でも貴重なものとして高く評価されている。

当時の記録によると、蒲生田海岸への上陸数が最も多い時は、1959年(昭和34年)に781回が記録され、同年に

「蒲生田海岸のアカウミガメ産卵地」として県の天然記念物に指定された。

ところが、近年阿南市の砂浜におけるアカウミガメの上陸・産卵数は当時の数と比べると著しい減少傾向にあり、蒲生田海岸では、2016年(平成28年)のシーズンは、記録史上初めて上陸を確認することができなかった。その後も上陸数は、毎年数回程度に



蒲生田海岸で産卵するアカウミガメ

しか及ばず、産卵を確認する事もわずかとなってきた。これは、徳島県内全域の海岸においても同様の傾向である。原因としては、温暖化や砂浜環境の変化などさまざまな要因が考えられているが、いまだ明確な答えは出ていない。

ウミガメは、環境省のレッドデータブックにも掲載され絶滅が危惧されている動物である。その種を後世へと守っていくためには、同じ地球上で暮らす私たちが、清掃活動などで海岸を美しく保ち、ウミガメが上陸しやすい環境を整えていく事が大切である。

(文化振興課 西林雄貴)

ウミガメ上陸に 関するお願い



阿南市では「阿南市ウミガメ保護条例」に基づき、ウミガメ保護に努めています。また、阿南市内の海岸に上陸するウミガメの頭数調査を毎年実施しています。ウミガメの上陸、または足跡が確認された場合は、文化振興課までご連絡ください。

問い合わせ
文化振興課 ☎22-1798



アカウミガメの足跡



アカウミガメの卵